

## 第 59 回宇宙科学技術連合講演会オーガナイズド・セッション(OS)企画提案書

(1) セッション名

SpaceWire 研究の成果と発展： これまでの 10 年と今後の 10 年

(2) オーガナイザ

高橋忠幸(JAXA)、能町正治(大阪大)、○福田盛介、高島健(JAXA)、湯浅孝行(理研)、  
小田木功(MELCO)、檜原弘樹(NECSpace)、益川一範(MHI)

(○:代表連絡者)

(3) セッションの概要

いよいよ今年度、SpaceWire アーキテクチャを大規模に採用した ASTRO-H が打ち上げられる予定である。これは、約 10 年前から、衛星アーキテクチャのネットワーク化に好適なキー技術として SpaceWire に着目し、産官学共同でステップ・バイ・ステップに進めてきた研究開発の大きな節目である。今後、SpaceWire 技術をさらに発展させ、国産衛星の競争力を飛躍的に高めるため、関連する研究者・技術者による講演を集めて、高速化、高信頼化、プラグアンドプレイ、低リソース化などの課題を掘り下げ、将来 10 年の目標の共有を図る。

(4) セッション形式

講演(20 分) x 10~15 件 を予定

(5) 講演リスト

TBD

(6) その他

- 一般講演の追加： 受け入れる
- プログラム編成においては、可能な限り、10/7(水)を外して下さい。  
また、別 OS「小型探査機による月着陸探査」とは別の日にして下さい。

以上